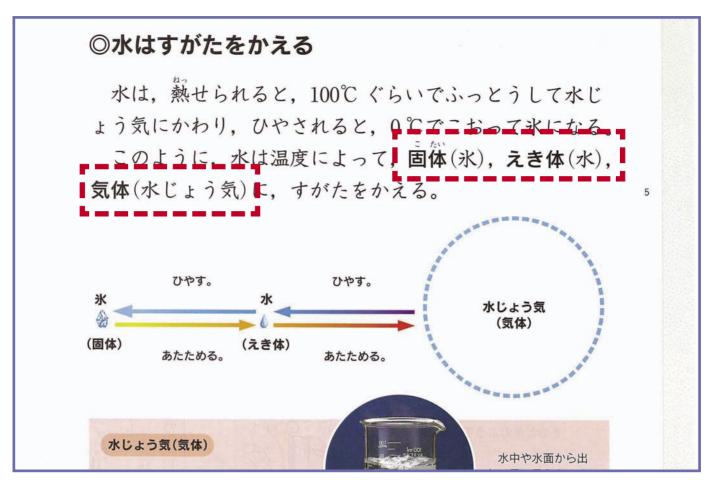
18)章の表題や本文中の太字の語句などの強調表現については、単に強調処理を行うと、線間が狭くなるために文字が分かりにくくなる場合がある。そこで、その強調表現のために、もともと線が太くて、かつ分かりやすいフォントを使うなどの配慮を行う。今回の社会と理科の場合には、もともと線が太くて分かりやすい「平成ゴシック W」を用いた。







64 23-1



新しい理科 4 下 (東京書籍) P.38

拡大本の強調文字として、赤枠内のように、もともと線が太くて、かつ分かりやすい「平成ゴシック W7」を使用しています。

◎水はすがたをかえる

水は, 熱せられると, 100℃ぐらいでふっとうして水じょう気にかわり, ひやされると, 0℃でこおって氷になる。

このように、水は温度によって、**固体** (氷)、**えき体**(水)、**気体**(水じょう気)に、 すがたをかえる。